


Q わかれば完璧! 予防接種っていつ受けるの?

赤ちゃんの予防接種は生後2~6ヶ月がピーク。接種可能な時期になったらできるだけ早く受けるのがベスト。かかりつけ医と相談しながら、早めにスケジュールを立てよう。

不活化ワクチン <small>細菌やウイルスを殺し、毒性をなくしたもの</small>	定期 定められた期間内で受ける場合原則として無料(公費負担)。	定期予防接種の対象年齢	 オススメの接種時期(数字は接種回数)
生ワクチン <small>生きた細菌やウイルスの毒性を弱めたもの</small>	任意 多くは有料(自己負担)。ワクチンによっては公費助成があるものも。	任意予防接種の接種できる年齢	

※次に他のワクチンを接種できるのは、不活化ワクチンは1週間後の同じ曜日(中6日)、生ワクチンは4週間後の同じ曜日(中27日)からになる。

同時接種: 効率的に受けられる同時接種の例。

©NPO法人VPDを知って、子どもを守ろうの会 予防接種スケジュール 2014年10月版より改変

ワクチン名	0歳												1歳												2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	(満年齢)
	1ケ月	2ケ月	3ケ月	4ケ月	5ケ月	6ケ月	7ケ月	8ケ月	9ケ月	10ケ月	11ケ月	1ケ月	2ケ月	3ケ月	4ケ月	5ケ月	6ケ月	7ケ月	8ケ月	9ケ月	10ケ月	11ケ月	8	9	10	11	12	13			
任意	B型肝炎 (不活化)	← ① ② →		← ③ →																											
	ロタウイルス (生)	①	②	③	ロタウイルスワクチンは2回接種するものと3回接種するものがある。遅くとも生後14週6日までに接種を開始し、必要な接種回数を受けよう																										
定期	ヒブ (不活化)	①	②	③	ロタウイルス、ヒブ、小児用肺炎球菌、四種混合の必要接種回数を早期に完了するには同時接種で受けるのが最適																										
	小児用肺炎球菌 (不活化)	①	②	③	2013年10月までの7個ワクチンに含まれていない6個分の免疫をつけるために、7個の接種完了者も8週以上あけて13個ワクチンを1回接種(補助的追加接種・任意接種)																										
	四種混合 (不活化)	①	②	③	二種混合(DT)を11歳で追加接種(接種対象11~12歳)																										
	BCG (生)	← ① →												個別接種の場合は四種混合などと同時接種で受けられる																	
	MR (生)	1歳の誕生日が来たらできるだけ早く同時接種で受けよう。MR・おたふくかぜ・水痘の同時接種は、ヒブ・小児肺炎球菌・四種混合の追加接種の1週間後に受けることも可能												①												幼稚園、保育所の年長の4~6ヶ月がオススメ			← ② →		
水痘 (水ぼうそう) (生)	①												← ② →												追加接種は初回接種から3ヶ月の間隔をあけて受けよう						
任意	おたふくかぜ (生)	①												← ② →												日本脳炎ワクチンと同時接種が可能					
	A型肝炎 (不活化)																			9歳で追加接種(接種対象9~12歳)											
定期	日本脳炎 (不活化)	① ② ③																		④											
任意	インフルエンザ (不活化)																			毎年10~11月頃に受けよう											